

平成30年度 埼玉県校外教育協会委嘱
校外教育 研究紀要

< 研究主題 >

杉山城跡整備活動による郷土を誇れる生徒の育成



嵐山町立玉ノ岡中学校

埼玉県比企郡嵐山町杉山610

TEL 0493-62-2305

FAX 0493-62-2764

tamacyuu@town.ranzan.saitama.jp



1 はじめに

嵐山町は、埼玉県西部に位置し、面積約 29.92 k m²、人口約 1 万 8 千人の南北に長い町である。木曾義仲や畠山重忠といった武将や城跡、合戦など、中世の歴史にちなんだイベントとして、毎年 1 1 月初旬に行われる「時代まつり」では、町長をはじめ中学生や町民が武将の格好をして武者行列をする。本町にある 2 校の中学生も毎年、「時代まつり」に参加している。

本校は、昭和 5 9 年 4 月 1 日に開校され今年度 3 5 周年を迎えた。続日本百名城に指定された杉山城跡に隣接して建てられている。嵐山町の北部に位置し、全校生徒 1 8 4 名、8 学級（通常学級 6、特別支援学級 2）の小規模校である。学校の周辺は、田畑や森林が多く自然に恵まれた環境であり、学区内には農家を営まれている方も多く地域のコミュニティは強い。地域の方は、本校を地元の学校として親しんでくださっている。

2 研究の概要

(1) 研究のテーマ

杉山城跡整備活動による郷土を誇れる生徒の育成

(2) 研究のねらい

杉山城跡の学習会や整備・保全活動への参加を通して歴史的価値や保存会をはじめとする郷土を大切にす地域の人々の想いに触れることにより、郷土を愛する心の涵養を図る。

(3) 杉山城跡整備活動の歴史と整備・保全活動

杉山城は、戦国時代に築城された城であり、良好な保存状態や築城技術の高さが評価され、平成 2 0 年度に「国の史跡」に指定された史跡である。遠方からや観光バスで団体の見学者が訪れるなど、その知名度が上がっている。

杉山城跡は、以前から嵐山町及び地域住民による整備・保全活動が行われていた。本校が、杉山城跡に隣接していることから、平成 1 6 年度より、総合的な学習の時間に奉仕活動の一環としてその整備・保全活動に協力している。

3 具体的な取組

(1) 生徒会主催による新入生対象の杉山城跡学習会

本校では、1 年生が入学して直ぐに開かれる対面式で生徒会が主催となり、スライドを使って杉山城跡の整備活動を紹介している。

本校の生徒が、嵐山町や地域の保存会の方と杉山城跡の整備活動と一緒に行動できるようになってから 1 5 年間も続いていること。地域の方と中学生と一緒に行動しているこのボランティア活動が評判になっていること。杉山城が続百名城に選出され、今では多くの見学者が杉山城跡を訪れるようになったこと。先輩たちが長い間続けてきた活動を、自分たちも誇りを持って行っている



こと等を学んでいる。

(2) 嵐山町と杉山城跡保存会による杉山城跡学習会

毎年、1年生が嵐山町教育委員会文化スポーツ課の職員と杉山地区の杉山城跡保存会の方から、杉山城の歴史を学習している。知識を学ぶだけでなく、地域の方々の杉山城に対する思いや地域に住む子供たちへの願いなども学んでいる。



(3) 杉山城跡遊歩道整備活動

第1学年 ～ウッドチップ撒きによる遊歩道舗装～

- 学校で保存会の方から杉山城跡の歴史を学習した後に杉山城跡に異動して作業をする。
- 保存会の方が伐採した木を細かく砕いたウッドチップを袋に入れて、保存会の方と一緒に遊歩道に撒く。
- 遊歩道にウッドチップを撒くことにより、見学者が迷わずに杉山城跡を見学できる。また、歩道と城跡の区別ができ、城跡が荒れずにきれいな状態を保っている。



(4) 杉山城景観整備活動

第2学年 ～竹林伐採による景観整備～

- 本校の生徒が整備活動を始めた平成16年頃は、杉山城跡は竹林に覆われていた。活動を始めた当初は、2・3年生合同で竹林伐採を行っていたが、竹林の伐採が進んだので、2年前からは2年生だけで伐採作業を行っている。本年度は、新たに北斜面を整備することになり、うっそうとした竹林の伐採を行った。
- 保存会の方に、道具の使い方や伐採のやり方を丁寧に教えていただき、道具を正しく使用できるようになった。のこぎりなど危険な道具も使用するが、今までに大きな怪我は一度もない。





(5) 整備活動を行った杉山城跡で連凧揚げ

整備活動を行っている1・2年生が合同で、毎年、杉山城跡で連凧揚げをしている。ひとりひとりが凧にそれぞれの願いやメッセージ、絵を描き、全員の凧を糸で繋げて揚げている。連凧が上手く風に乗らずなかなか揚がらない年もあるが、青空に天高く連凧が揚がった光景は圧巻である。



4 成果 (○) と課題 (●)

- 平成16年度から地域の方と継続して行っている杉山城跡の整備活動を、「ずっと続けていきたい」「続けた方がよい」と99%の生徒が考えている。
- 本校の生徒のうち、88.2%の生徒が、嵐山町が「好き」「まあまあ好き」と考えている。また、将来も嵐山町に「住みたい」「住んでもよい」と思っている生徒が72.9%いる。
- 杉山城跡を保存するためには継続的に整備をする必要があることを知り、多くの労力と時間が必要なことを体験的に学ぶことができた。
- 自分たちが整備している杉山城跡に多くの見学者が訪れているのを肌で感じ、学校の近くにある史跡を整備する活動に誇りを持つようになった。
- 竹林の伐採が進んできており、目に見える整備活動は少なくなってきた。今後、整備活動の形を替えていく必要がある。
- 今後、この活動を継続させていくためには、本校だけではなく、学区の小学校と連携して行っていくことや杉山城跡でイベントを行うこと等新たな取組を考

えていく必要がある。

